

み言葉は

いのちの言葉

イザヤ35.4

神は来て、あなたたちを救われる

今月のみ言葉の「神は来て...救われる」には現在形が使われています。「神が来る」のは今この瞬間であって、明日や世の終わり、または来世を待つ必要は全くないことを示すためです。神は直ちに実行されます。

具体的な愛

人々の心は病んでいます。病んでいる私たちをご覧になり、憐れに思われて神さまは介入されるのです。そして御自ら、ご自分が創られた者のところに来られ、一人も失われることのないように手を尽くして下さい。

いつも心を開いておられる方

神の御手は、今まさに、溺れかけようとしている人に差し伸べられる手のようです。私たちは、差しのべられる神のみ手に毎瞬間しっかりしがみつ き、信頼してその導きに従うことができます。

苦しんでいる人に向かって行く

神さまは、自分のことだけを考え、他の人に心を閉ざしてしまいがちな私たちの心を癒すだけではありません。助けを必要としている人、悲しみや試練にある人に私たちも手を差し伸べることができるよう助けて下さいます。



いのち

マダガスカルから

やり直すのは、一緒ならもっと簡単

学校で何人かの少年たちがアルコールや薬物をもって来るようになりました。私が勉強を一緒にみてあげていた女友達も何人かの少年たちと一緒に薬物をするようになりました。そして他のクラスメートたちと分裂を引き起こしました。

私が、何人かの友だちとわかったのは、Fはもう引きもどすことができないような大きな危険のなかにいるということでした。彼女と話さなくてはいけないと思ひ、私が一番適任だと友だちは考えました。私は、彼女の友達で、勉強を助けてあげていたからです。

私はイエス様に助けを願って、彼女が愛を感じるような言葉を選んで話せるように祈りました。最初は、話すため外にでるようにしたいと言っていました、少しして考えが変わって、長いこともう私とも、他の友だちとも話していないので、もう勉強を助けてくれなくても問題はないと言いました。

もうずいぶん前から予定していた、勉強のための旅行のときが近づいていました。

そのための準備をしなくてはなりませんでしたが、一緒にではなく、別々になっていました。彼女に私が何かいやなことをしたことはありませんでしたが、彼女は私と話すことはなくなりました。でも私は決心して、彼女に誤りに行きました。そして友だちも同じようにしました。そうしてからは、前のような友だちとして仲直りをすることができました。

少し後、アルコールや薬物を持ち込んだ学生は、学校に見つかり、私もクラス委員長として知っていることを聞かれました。その学生たちの何人かは、自分の誤りを認め、ゆるしを願いました。それで続けて勉強できることになりました。何人かは自分の過ちを認めず、それははっきりわかったときに、学校をやめさせられました。